

調査報告 高山植物の自然美

Survey report : The natural beauty of alpine plants

市川 治郎
ICHIKAWA Jiro

キーワード：高山植物、登山、自然美から学ぶ
Keywords : alpine plants, mountaineering, natural beauty

While climbing mountains in the Southern Alps we observed a number of alpine plants blooming in harsh natural environments. We appreciated the beauty and want to learn something about natural beauty.

1. はじめに

都会を離れて一步登山道に入ると、日頃見ることのできない美しい植物に出会うことができる。

一方で高山の厳しい自然条件は、生物としてその地に生存することの難しさを思い知らせてくれる。

この調査報告では、2018年8月21日から22日にかけての1泊2日で、山梨県南アルプス市広河原より入山し、北岳、間ノ岳、農鳥岳を経て、同県南巨摩郡奈良田へ下山した際に撮影した高山植物の写真を掲載した。

私は登山家でもなければ写真家でもないが、美術に携わって来た者の一人として、素直に我が国の豊かな山川草木の姿に感動する。

南アルプス山岳地帯への登山を通して、厳しい自然環境の中に咲く、数々の高山植物を観察し、その美しさを直に鑑賞すると共に、自然美とは何かを学びたい。

2. 南アルプスの花々

以下に、今回撮影した花々を掲載する。花名については高山植物図鑑などで検索したものである。



図1 南アルプスは水に恵まれた山域である。今夏は台風が多発により、降水量の一層の増加が感じられた。



図2 ミヤマゼンコである。水辺に近いところに群生していた。白く可憐な花々が密集して咲く。

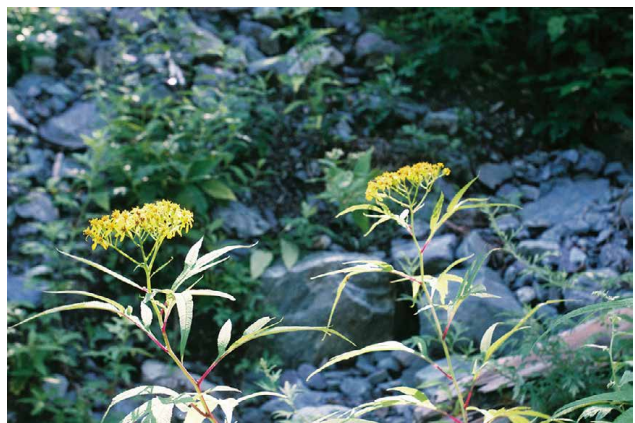


図3 ハンゴンソウである。これも水辺近くに密生していた。こちらは黄色の小花が密集して一際目立っている。



図4 ホンバトリカプトである。青紫が魅力的な花であるが、猛毒を持つことで有名である。



図5 コウシヤマハッカである。これも美しい青紫色の小花をたくさん付けている。



図6 イワギキョウである。鮮やかな青色が遠くからも目立つ花である。

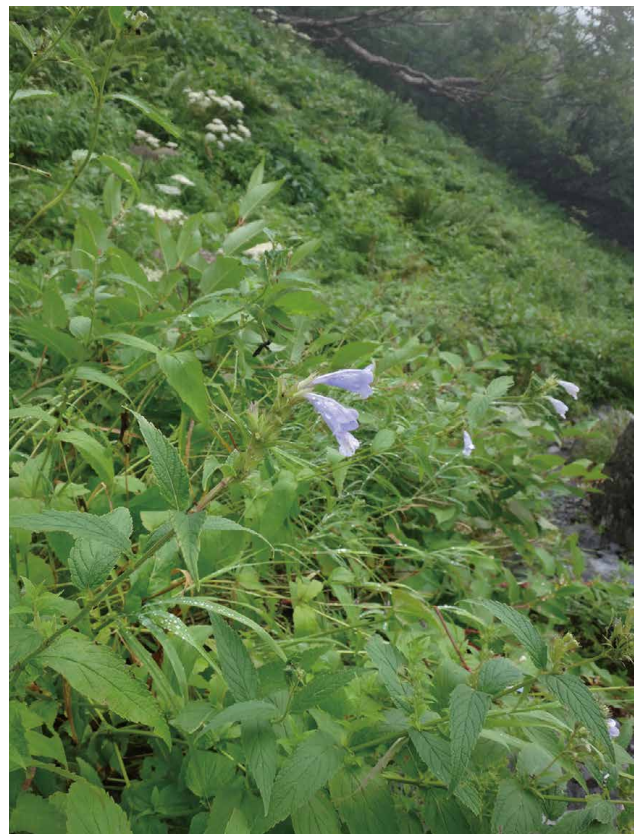


図7 ハクサンシャジンである。やや高度が上がり、花の色も淡く上品な青紫色である。



図8 キタダケトリカブトである。高度3千メートル付近に力強い紫色の花を咲かせている。



図10 ハハコヨモギである。岩稜帯の厳しい土壤に耐えて咲いている。



図11 トウヤクリンドウである。これも高度3千メートル付近の岩稜帯に美しく淡黄色で咲いていた。



図9 ヤマハハコグサである。これも高山帯に白く可憐な小花を密集させていた。



図12 高度3千メートルの岩だらけの稜線。



図 13 イワベンケイであるが、花は咲き終わっている。



図 16 イワツメグサである。可憐で小さな白い花であるが、足元に目を凝らさないと見落としてしまう。



図 14 稜線付近で咲く花々。お花畑のように美しい。



図 17 イワシャジンが岩陰に身を潜めている。



図 15 稜線付近には、チシマギキョウやホソバトリカブトが群生していた。

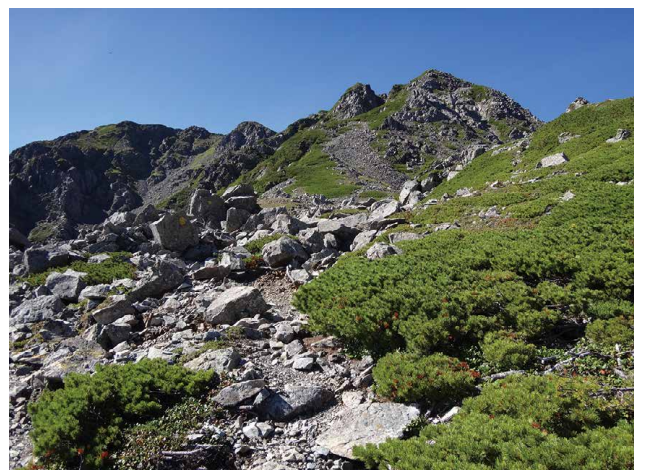


図 18 ハイマツの群生である。森林限界を越えた稜線地帯の王者である。



図 19 ヒメシャジンである。青紫色の優しい花である。

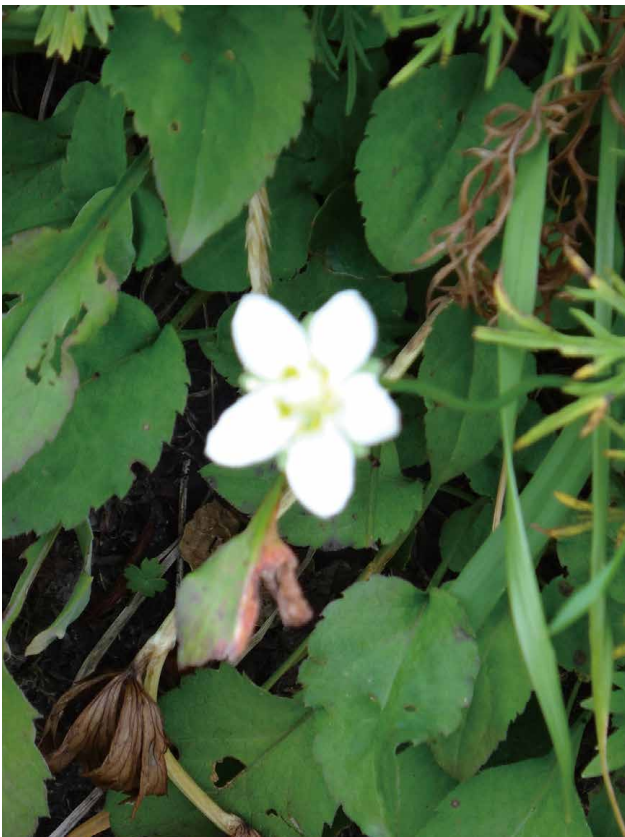


図 20 ウメバチソウである。真白で5枚の花弁が力強く特徴的である。



図 21 タカネナデシコである。薄紫色で細い花弁が可愛い。



図 22 ソバナである。こちらは薄青色で群生していた。



図 23 岩稜帯には濃霧がかかることが多く、これが植物たちに多くの水分を補給している。



図 24 サラシナシヨウマである。鮮やかで白い小花をたくさん密集させている。



図 25 稜線地帯のお花畑である。黄色いトウヤクリンドウや紫色のキタダケトリカブトが印象的である。

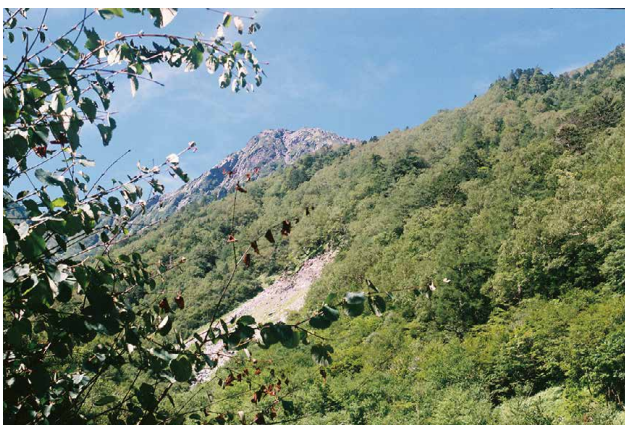


図 26 樹間より北岳を遠望する。



図 27 ヨツバシオガマである。赤紫色の淡い花を密集させている。

3. まとめ

自ら望んだこととはいえ、3千メートル級の登山は体力的に厳しく感じる。登る時も降りる時も常に慎重に、本来は草花などをよそ見しながら歩くことは危険である。

しかしここには生命の危険を賭けるに値する自然の美がある。特に高山植物の色とりどりの美しさは、絵にも文章にも表し難い魅力に溢れている。

それらに触れることを通して、改めて自分が美しい自然の中に生かされていること、そして美の源泉である自然を大切にしなければならないことを学んだ。

(撮影機材)

- (1) Leica Standard , Elmar 5.0cm f3.5
- (2) SONY DSC-TX300V
- (3) Apple iPhone 8

4. 参考文献

- (1) 清水建美：山溪ハンディ図鑑 高山に咲く花、p.512、山と溪谷社、2014.
- (2) 新井和也：高山植物ハンディ図鑑、p.176、小学館、2009.
- (3) 新井和也：日本の高山植物、p.320、文一総合出版、2010.